

卷之三

七

三人ノリード

さうはとての角があのどんとぬりあひのい  
三河よりひがみへんかくへきらわせぢちに  
のほまとひよのどとうちとく出と  
きよとくかみのれんのくわいわよみを。か  
びりおこす。すかよひひくとく。うれぞ十  
がんのうんせとくひまつりや。そそうんせとくあ  
まうよ出。まじめにきあらひあがよ三年そのち  
かとあひがやれ。ひひわひだ。そよ  
をうちもあまのひよくとめくらひ。ま  
らへはまじえんとくもじいがくよ  
うをとくもく。とくもくもくもくよ

あらまじの風景うなせの中あるねば。ありまじと  
まこととゆく。日や月とめぐらし。うとす  
てのがりひや。ふよ。う。まふうからうじとす  
ひあひじ。うきとす。うがたるをみゆとす。みゆ  
とす。う。まづり。うがり。うり。うわく。みゆ  
はせせらひ。あきだをおほひよ。さんあまいたび  
らをす。をよ。まづく。おひあまわ。まどをそ  
むあらまき。うせく。う。まわ。のあや。のあげがつゆ  
ニウニウのうらうも。それまくあめをまく。まく  
し。うふめをあく。れど。あまことかげ。まく  
まく。うひー。がそのちうれきうのを。まく。わくま  
あくせう。う。う。う。う。う。う。



ひせうれふふきひめへりとばかりうるんぬ  
し。もじうりくことひやとひやわざうどひよび  
おなじとりあざとそひくとばせうがまうわ  
日ごとあだくしのふくとやふそゆとくす  
をうも。そいつらうへぬつやうでとくのうは  
みのうどくのゆくあうしてゆく。ほふくを  
みくが事とがまくとひくとつえよほくとく  
あがふすれあくとくらしき。れ、あがに  
みんのしけあととくらしき。れ、あがに  
たつまひがくすまほのまちもむのゆ  
たけりてくらむえだら。四七  
もあやううん臂ひーがのねあく  
あらぬれいをかく。くとの東海市がくううん  
ひとくらみしせんせりそひぎひがくゆく  
もあらば。國はふ國がふゆうひとくゆく  
ゆくともせりひぬとくゆうひとくゆく  
みとくとくとくゆくとくゆくひとくゆく  
くゆくゆくのくとくとくひとくゆくと  
くゆくゆくのくとくとくひとくゆくと  
くゆくゆくのくとくとくひとくゆくと  
くゆくゆくのくとくとくひとくゆくと  
くゆくゆくのくとくとくひとくゆくと  
くゆくゆくのくとくとくひとくゆくと

くゑく。とくとくとうらうとく。ひまえ年がうる  
やうひよひ。おおきの風の風はとんせいの財三とくもぢ  
あひしめの風。とけちれあまとすらとく。空と  
んせひゆひや。とくごくごくゆもくべんを  
せもごくとくひと。びよらうも。わわみうね  
せひよや。びやうじや。とくやうちもをちひく。じぞのま  
のうちうり。とくをもひひひ。びやどはあく  
トとくもや。とくもひひ。とくやゆういを。とく  
あひひひ。びきんぶらはひも。びとみよひ。  
ちくめそくれむを。あくとにわばくひちり。あれ  
よみそそひねのりと。びへりもしひ。びわさる火  
きくへあく。毎日あく。とくび五つまつひます  
ゆくをやべます。とくとく。とくふへとくとく  
とくとくと。作ひや。とくとく。とくとくと  
きよせう。とくあふきあうじ。とくんびらのひま  
をもひゆり。とくとく。とくとく。とくとくと  
ひをうと。とくあうじ。とく。おうじかでひゆみを  
がくくひほく。とくまもとんびらのとくくゆゆひ經  
よああこのまわりや。とくば風。とくいよあひそ風  
とくゆく。とく。とくくらむとく。とくのくわま  
とくまく。とく。とくくらむとく。とくのくわま  
とくまく。とく。とくくらむとく。とくのくわま  
とくまく。とく。とくくらむとく。とくのくわま

乃よりやうやくとちりとみえやうに遊ぶ  
きくくもくはくちくへせうじのやうがまつめ  
人ぐざわらうりゆせやうはわれめくすのひ  
けふもくおもんぐるのうがくねひやすを  
くよやうくねひびきうそくばのうきでへ  
えんぐのおりひとくひちくもくにうちもれ  
あはれのえみりとくれふくのせよくに  
わらうけとくとくとくもの神とみはあくま  
くはざくはくもくよくうえうやうのむりと  
てゆきゆきとくくよくうめくめくのく  
くひくわくわくくよくうのく  
きくわくわくくよくうのく





かくゆゑをうわそづてありとて。ゆつゆくとてひ  
らあとがたとてぐさやあひよもぬめをくれふも清  
て。よしにあうとせとみとみとばれのを清  
れちとびおきと見りのとけくとみとばれのを  
れつゆるをあうとせとみとみとばれのを清  
もやべ。よしにあうとせとみとみとばれのを清  
りうちれがざくとせとみとみとばれのを清  
り廢のいじやせとやくとやくとばれのを清  
をじよき。仏をよ入る。ゆくとてものす  
をわすがむらしげとばれのを清  
きん行と本のとくとくとくとくとくとくと  
あはつととのとくとくとくとくとくとくとくと  
て。あはつとひい。はるくわらまくわらま  
よもよもわらわらわらわらわらわらわらわら  
あはつとひい。はるくわらまくわらま  
ごもとそりへんせりへんせりへんせりへん  
そのじかで下のあうぢやかのへひひひ  
きときときときときときときときとき  
よもよもじゆじゆじゆじゆじゆじゆじゆじゆ  
あんよあんよあんよあんよあんよあんよ  
らわらわらわらわらわらわらわらわらわら  
よひわらわらわらわらわらわらわらわらわら

のまへをひびとあひがみをやうがせき  
人氣の下ともうらひひ。かほくまめ  
をひも。哥のうちやなひも、おうじおま  
も。えまに人まくとひよりやう。おまち  
をうちり。おもひて哥のうちをとひど。お  
こまへさうとむかをく。おまちの哥も。  
おれまくと家とひよりとひより。おまちの  
まくとぞとあられとおもひる

あまごあまうひとおまく

お尋とこうて。おれをとくをく。せんとく  
てあおちふとくにまくわ。おまくして。やく  
はいはくじとくがく。我とくかくらがちの書  
は黒入道。おまくとくをく。おまくとくをく。  
てあまくす。おれをとくをく。おまくとくをく。  
おれをとくをく。おれをとくをく。おまくとくをく。  
おれをとくをく。おれをとくをく。おまくとくをく。  
おれをとくをく。おれをとくをく。おまくとくをく。  
おれをとくをく。おれをとくをく。おまくとくをく。  
おれをとくをく。おれをとくをく。おまくとくをく。  
おれをとくをく。おれをとくをく。おまくとくをく。





詩と  
高都よりめうかうよ人とあやうじとぞうよして。  
くやうとのづうとやるみややとあひくばねま。  
やうじんとをちうくらりまがびふとせんよ下  
きとうわ。のじん男女市とらもと。う。ちうく  
くもとて。くもととすもと。う。ちうく  
クを取集と。あれやれとまでもがくま  
いとすまう。ゆうやくおひじとてのどを。  
くもれらうとびと。うとをやしを  
みとばんちのうん。れきとまくとくべき  
生え。とくのく入種ふ。のほはんはんもあひを  
きとたまえ。とくとくちとわりくとく。  
あうがくうり。とくをあよ。とくのどをひあう  
こみうちき。とくをやとあやんとま  
二くじくもゆく。わびとくえと。とくれ  
わふうとく。三がれとくとくをひまざき  
をくも。とくれとくとくとくらんと。たとく人  
きくらうとくとくとくらんと。たとく人  
じがたかくらまつぐとくとくらんと。たとく人  
えそびりのとくとくと中はくとひ。とんせりとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

とあらばし。どくどくのまづきんがあはれを  
もそよぶ。称づくがうちわをねあ。母と妹  
くさりうへつを渡てゆくてゆくびよ  
ゆゑやかとまづきんがよ。上人風とあわす  
おとづればよ。ゆきせひなむ  
あがくゆゑをほれど。人所處處にだらむ。  
ちをもれぐもとまづきんをとめらる  
今ぞ見。とあらうだりとももつたゆと  
よよき。とおひだりとまづきんがよ。だらくと  
うそがゆいとまづきんがよ。それくらひと  
けがんざわらをやう。食不定<sup>フタ</sup>ありとやせん。中  
かこせじんとくとわよそくれむぢくを。

じうちゆくとよし。とよし。とよしの内又  
あくつて乃まく毎日あてれまく。あん  
いゆくやうのじうくちうもくとく。ゆくの内  
やうくよちう。とひれまくひととく。ゆ  
いれまくとく。とひれまくひととく。ゆ  
あらまくとく。とひれまくひととく。ゆ  
ゆどくじうよちうとく。ひれまくひととく。ゆ  
とくよくとく。とひれまくひととく。ゆ  
もくとく。とひれまくひととく。ゆ  
とくよくとく。とひれまくひととく。ゆ  
とくよくとく。とひれまくひととく。ゆ

あれあらんとぞづきよし御詔づかへ候ふ二人とも  
もれもおひゆりやとよひとわもつとれをうす  
じくまことうづく年号日づけをうたふ。や  
よしめうとうさうも

みくびくかごとぬうとあてもニ  
トおむとそトテモトナヘとおぐ  
キムドトカトトケルをくろきと  
ツフミをうちるあといぐせん  
あんとよかそがよもとびゆゑの神とくわ  
あそをあひくちるをふりかやうれうりはま  
しゆ。うせんと下。うづくくろんよなでとお



乞ふまくみうへおもひひとひよきありがゆを  
よれまへまへせびじうちもとわもひき  
性きれりよりとまへどくよまへせ  
りんもとをきのあらんせにまくへすとま  
どきのくわくとまへせりんへくひ  
あづくゆせりんへくひりんへくひ  
しをわるとまへせりんへくひ  
だくらうめとまへせりんへくひ  
よさかごぎぎへまへ入る。やまとくとく  
御とちひあひとぞくとぞくとくとく  
よひひうりまくとくとくとくとく  
にりとふゆすあらんはまへざんへくまへ  
うみべくまよせんくやさんな弘法大师入室  
れとくわゆくらうじゆれきのらう。くうるく  
ひゆうゆうくべくじとおもれれやんのく  
くよあがれいりとじくく一々事と修りせ  
ぐやとむひとくとくとくとくとくとくとく  
れくらじくとくとくとくとくとくとくとく  
てちくまよあくとくとくとくとくとくとく  
三昧とく。月とをくらひりんくふまくわく  
すとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
ゆりひくまつりとびれうふあひくわく  
くひく。うづとくとくとくとくとくとくとく

とどきさらく。わがびくやうりてひす。や  
ありばるもととくとくとけまへ云れど  
あましに西川へんをひとらす。殊勝よそと  
とく。まく神とあざむき。そそ穿とせうと  
うととへばんのとく。ほんじへたとばん  
せうとく。あみたとがんちとく。三の傍  
一同とくとくらそ。わくか。ざやけのうふね  
物よ下れ。梅は葉をうてからまく。今は  
けれ薫とあそひうちもく。とひれうちし  
えれ下にく。とおうとひくひよもあぐる  
よきごんもとあうだれ。ひくひよもあぐる  
くとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
よとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
みあせやれうり。あせんせんせんせんせん  
めいひとちりうり。あとあとせんとせんとせん  
うりとぎんがとや。あとあとせんとせんとせん  
まみがまされとましめたり。あがれよまされ  
と。あがれあがれ。あらうもあらうもあら  
あらうもあらうもあらうもあらうもあらうも  
又あああああ。それあああああああああ  
ひよしれぞ。まじりんとれきとれきとれき  
れりんとれりんとれりんとれりんとれりん  
とれりんとれりんとれりんとれりんとれりん

まつりとびとをうかあんちつぐみ  
つみそそがねばよむだひくらがくしん  
ちもあひぐらし。あともまくづくすせんの  
うなま。ゑどもえくふをじごくうれわを  
きもれうりひ。一た事ががくとくでそ  
うへぐき。ひじるもみからくとあ  
らわ。おもくわくわくうんもくくわくと  
ぞもんめりせ

# 正保三年

元日

110X  
454  
2